

令和4年2月24日

西部農林水産振興センター 県央事務所 大田農業部

標 題	島根県 野菜で初！ 美味しまねゴールド 団体認証取得 石見銀山白ねぎの会
-----	---

(ダイジェスト)

大田市の石見銀山白ねぎの会が、野菜では初めてとなる美味しまねゴールドの団体認証を取得しました。

石見銀山白ねぎの会は、10戸の白ねぎ生産者で構成され、ほ場整備等を契機に白ねぎ栽培を拡大してきました。そこで、今年度は、より良い農業経営の実現のためGAPに取り組み、団体での美味しまねゴールドの取得を目指してきました。

大田農業部では、本認証取得に向け、美味しまね・GAPスタッフと連携し、6月の説明会から支援を開始しました。各戸2～4回の細やかな個別指導を行い、10月の現地審査を迎えることが出来ました。そして、令和4年1月28日に、島根県の野菜では初めてとなる団体での認証取得となりました。

この度の団体認証取得に当たり、石見銀山白ねぎの会会長（大田市三瓶町：丹波篤氏）から下記のようなコメントを頂きました。「石見銀山白ねぎの会は、農業従事者の減少、高齢化等の様々な問題を抱えつつスタートした小さな部会でした。そのような中でも、JA・県農業部の方々よりお力添えを頂き、前向きに活動することが出来ました。これを大きな一歩とし、改めて部会が一丸となり、大田市の白ねぎが”美味しい”の笑顔をもたらす様に、全国へ・世界へと発信していきたいと考えています。」

このほかにも生産者の方々からは、GAPをきっかけに、衛生管理により気を遣うようになった・生産した農作物に自信を持てるようになったとの意見を頂きました。一方で、準備する帳票が多く大変であった等の意見も頂いたことから、「ベジあん」や「あい作」等のアプリを活用した記録の省力化を検討しています。石見銀山白ねぎの会が持続的に発展していけるように、今後も引き続き支援をしていきます。



(写真1：白ねぎ収穫作業)



(写真2：白ねぎ出荷調整作業)